



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立橋小学校
学校だより No.38
令和6年12月4日
文責：校長 酒井 健

◇6年生が郡山三中の体験入学に行ってきました。

12月3日(火)、6年生の子どもたちは、郡山第三中学校の体験入学に行ってきました。1年生から3年生までの全学級の授業を参観したり、生徒会の活動の様子や部活動の様子なども見せていただくことができました。ちょっぴり緊張気味の子どもたちでありましたが、貴重な体験がたくさんできて、中学生に向けての夢が膨らんだ体験入学となりました。



校長のひとりごと

今日は、少し長く「ひとりごと」を言いたいと思います。一つ目は、『やる気スイッチ』についてです。子どもたちの体のどこかに、必ず『やる気スイッチ』があります。「え～、やだ～、やりたくない、めんどくさ～い、後で必ずやるから～」・・・一度は聞いたことがある、子どもから発する、この倦怠感あふれる言葉・・・何かを真剣に取り組みませたい親からしたら、「ふざけるな」と言いたいところでもあります。(いやいや、皆様のご家庭では決してこんなことはないかもしれませんが、我が家での話です。)

このような場合、子どもに「あれやれ、これやれ・・・」と言ってもなんの意味もありません。子どもからしたら「やらされ感いっぱい」であります。この「やらされ感」を感じている内は、何をやっても、身に付くわけがありません。やりたくないと思って書いている漢字の練習なんて、覚えられるわけもなく、ただ、ノートが埋まっていくだけですよね。そこで・・・であります。子どもの体のどこかにある「やる気スイッチ」を子どもと一緒に探してあげることが大切なんです。どこにスイッチがあるのか・・・どんなきっかけを与えてあげるといいのか・・・そこは、我々、大人がアドバイスするところでもあります。

ただし アドバイスは「やる気スイッチ」を見つけてあげるところまでであります。実際にスイッチをONにするのは、子ども本人でなければいけません。自分で自分自身のスイッチを力強くONにすることで、「やる気」がグリーンと高まっていきます。

学校とご家庭において、子どもたちの「やる気スイッチ」を探してみませんか？



二つ目は、先日、12月1日(日)のお話です。

橘公民館で、「郡山市社会福祉協議会橘支部主催」スペシャルコンサートが開催されました。演奏は、郡山ジュニアフィルハーモニーオーケストラ、指揮は、なんと・・・私・・・でございました。実は、私、平成8年から、ジュニアフィルハーモニーオーケストラの指導者として関わっておりまして、この日は、橘地域にお住いの敬老の方々にお越しいただいて、ちょっとしたコンサートを開いたのです。

クラシック、アニメ映画音楽、美空ひばりの「川の流れるように」、「花はさく」、「ふるさと」など、10曲あまりの曲を約1時間で披露することができました。私、MC(司会)も担当することになりまして、口下手ではありますが、進行もさせていただきました。

たくさんのおじいさん、おばあさんにお越しいただいて、本当に感謝であります。また、「川の流れるように」「ふるさと」は、演奏に合わせて、大きな声で歌ってくださり、とても感動いたしました。

地域の方々に、いつもいつもお世話になっている橘小学校です。この日は、そんな地域の方々に、少しでも楽しい時間を過ごしていただけたこと・・・オーケストラのメンバーとともに嬉しく感じました。

橘地域の温かさを感じた一日でありました。ありがとうございました。

